



総合質管理(TQM)部ニュース

2025年9月号(第26号)



今日は、医療安全管理課と感染管理課より報告です。

文責：今村里美（医療安全管理課）

配薬ルール遵守の重要性 ～～患者安全を守るためにできること～～



発生事例

配薬時の状況

患者Aに朝食配膳時、薬をトレーに置いたまま別の患者へ向かった

発見時の状況

数時間後、患者Bのポケットから患者Aの薬を発見
※患者Bは物を集める癖がある

結果

患者Aは朝食後薬の服用が遅れた



配薬の基本ルール



患者確認

患者のもとで氏名を名乗ってもらう
2つ以上の媒体で確認

服薬介助

患者の側で見守りや介助

服薬確認

確実に服用したことを確認



問題点と対策



業務効率優先の危険

「時間短縮」のつもりが重大事故に繋がる可能性

ルール無視のリスク

- ・薬の紛失、取り違い
- ・服薬漏れによる症状悪化
- ・他患者の誤薬等



対策

1つずつ確実に「患者確認→服用介助→確認」

♥患者の安全を守ることは私たちの責務です♥ルールを守り、安全な医療を提供しましょう♥



【感染管理課】水回りはなぜ水たまりがあったらダメなの？

文責：右田早苗

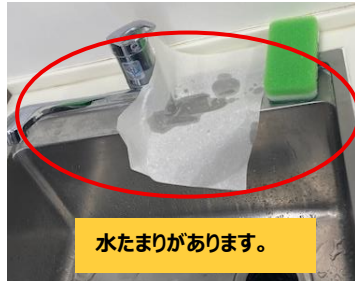
病院内では、様々な場面で『水』を使いますよね。例えば、手洗いや器材洗浄、食事やトイレ、お風呂などなど。水回りは高温多湿な環境になりやすく、有機物が含まれた病原菌が発生しやすいのです。シンクが水浸しだと、手洗いをした際に跳ね返りや周囲の器材などが汚染してしまい、せっかくきれいに洗ったのに、『再汚染』という事になりかねません。

院内感染対策としても、水回りの病原菌が患者さんへ伝播しないよう、毎週環境ラウンドにて、水回りに水たまりがないか、清掃状況を確認しています。



蛇口周囲に汚れと水たまりがあります。これだと、菌が繁殖します。

うーん



水たまりがあります。



シンク周囲に物品が沢山置かれていて、清掃づらい環境

Point

- ✿水回りの清掃は、1日1回は行いましょう
- ✿あなたが手を洗ったら、シンク周囲をペーパーで拭き取りましょう

中3階 シンク

清掃が行き届き、水たまりもありません！

